

管楽器部門 Wind



ザビエル・ラック Xavier Luck (フルート)

メルボルン大学を卒業後、英国王立音楽大学、ウィーン国立音楽大学で研鑽を積む。ウィーン国立音楽大学の学生時代よりウィーンフィルハーモニー管弦楽団及び、ウィーン国立歌劇場の契約奏者を長年務めた。ロンドンフィルハーモニー管弦楽団、ウィーン交響楽団、シドニー交響楽団、NHK交響楽団など、数々の世界的オーケストラにゲスト奏者として招かれ、演奏会、レコーディングを行う。兵庫芸術文化センター管弦楽団の初代フルート奏者を務めた後、2008年からソウルフィルハーモニー管弦楽団の副首席奏者を務めた。2013年より神戸女学院大学音楽学部准教授。



伊勢敏之 Toshiyuki Ise(トロンボーン・指揮)

大阪芸術大学芸術学部演奏学科卒業。現在、大阪芸術大学教授、大阪音楽大学特任准教授、大阪成蹊大学・女子高等学校吹奏楽部指導者を中心に、吹奏楽指導者・指揮者として活動。またトロンボーン奏者としても、テレマン室内管弦楽団など、関西のオーケストラや室内楽等のエキストラとして演奏活動。一般社団法人日本管打・吹奏楽学会、日本吹奏楽指導者協会（JBA）、日本21世紀の吹奏楽“響宴”の各会員。日本吹奏楽指導者クリニックスタッフ。関西トロンボーン協会常任理事。トロンボーンを磯貝富治男、呉信一、伊藤清、室内楽を森下治郎、指揮を岩村力、増井信貴の各氏に師事。



辻 功 Isao Tsuji (オーボエ)

東京藝術大学音楽学部付属音楽高等学校を経て、東京藝術大学音楽学部卒業。1985年第1回国際オーボエコンクール第2位（第1位なし）。87年北西ドイツ音楽大学（デトモルト音楽院）を首席で卒業。在学中、オーボエをH.ヴィンシャーマン、G.シュマルフスの両氏に師事。92年読売日本交響楽団に首席として入団。2020年3月同団を退団する。92年、95年、99年リサイタルを東京にて開催し好評を博す。

現在、洗足学園音楽大学教授、学部長補佐、国立音楽大学客員教授、日本大学芸術学部講師、日本オーボエ協会理事長。



JAPAN INTERNATIONAL
MUSIC COMPETITION

日本国際音楽コンペティション 審査員

管楽器部門 Wind



榎田 雅祥 Masayoshi Enokida (フルート)

チューリッヒ音楽院に於いてアンドレ・ジョネ氏に、ロンドン ギルドホール音楽院に於いてウィリアム・ベネット氏に師事。マリア・カナルス国際音楽コンクールで最高位を受賞。ノルウェーのベルゲン交響楽団首席フルート奏者を経て1980年から2010年迄大阪フィルハーモニー交響楽団首席フルート奏者を務める。

大阪音楽大学及び神戸女学院大学で後進の指導にあたる。現在、アジアフルート連盟総本部副会長としてアジア各地でリサイタル及びマスタークラスを行っている。又、古楽アンサンブル[オルフェオ楽派]を主催して古楽の普及に努めている。



JAPAN INTERNATIONAL
MUSIC COMPETITION

日本国際音楽コンペティション 審査員

弦楽器部門 Strings



漆原 啓子 Keiko Urushihara (ヴァイオリン)

第8回ヴィニャフスキ国際コンクールにおいて最年少18歳で日本人初の優勝。翌年、東京藝術大学入学と同時に本格的演奏活動を開始。1986年ハレー・ストリング・クアルテットとして民音コンクール室内楽部門で優勝並びに斎藤秀雄賞を受賞。

ソリスト、室内楽奏者としての活動はいずれも高く評価され円熟期を証明している。国内外の音楽祭、マスタークラスなどに多数出演。CDは文化庁芸術祭レコード部門優秀賞、レコード芸術特選盤に選出されるなど注目を浴びている。常に第一線で活躍を続け、安定した高水準の演奏は指揮者、オーケストラ・メンバー等の音楽家の間でも高い支持を得ている。

現在、国立音楽大学客員教授、桐朋学園大学特任教授。



上塚憲一 Kenichi Kamitsuka (チェロ)

1981年京都市立芸術大学音楽学部卒業。チェロを黒沼俊夫氏、バロックチェロをA.ビルスマ、室内楽をG.ボッセ、S.スタンデイジの各氏に師事。1991年、1998年に大阪文化祭賞・奨励賞及び第15回神戸灘ライオンズクラブ賞を受賞。1992年第1回坂井時忠音楽賞を受賞。現在は大阪音楽大学教授、同音楽院登録講師、県立西宮高等学校音楽科非常勤講師。地域での活動として明石フィルハーモニー管弦楽団演奏委員、同管弦楽団運営副本部長、同ジュニア・オーケストラ常任トレーナー、アンサンブル・ジョワン音楽監督及び常任指揮者、アンサンブル・オルタンシア・神戸指揮者、チェロアンサンブルKobe音楽監督及び常任指揮者を務める。西宮音楽協会会員。



嶽崎あき子 Akiko Takezaki (ヴァイオリン)

愛知県立芸術大学音楽学部弦楽器専攻卒業。ドイツ国立ワイマール・フランツ・リスト音楽大学首席卒業。ソリストとして室内オーケストラ「フランツ・リスト・ワイマール」とバッハ作曲ヴァイオリン協奏曲を共演。MDR（中部ドイツラジオ放送局）にて多数の録音に携わる。Speyerer Morgenpost新聞、Die Rheinpfalz新聞にて賞賛される。ワイマール国立歌劇場オーケストラアカデミー卒業。その後ワイマール国立歌劇場オーケストラ契約団員となる。ドイツ国立ワイマール・フランツ・リスト音楽大学「国家演奏家資格ソリストコース」に在籍。同年、ドイツで行われた国際ヴァイオリンコンクールにおいて入賞と同時に特別賞を受賞。同年、DAAD（ドイツ学術交流会・学内1位）奨学金を授与される。同年、Joseph Joachim国際室内楽コンクールにてディプロマ取得。満場一致最高得点でドイツ国家演奏家資格を獲得の上、首席で卒業。日本演奏連盟会員。西宮音楽協会会員。日本弦楽指導者協会会員。



JAPAN INTERNATIONAL
MUSIC COMPETITION

日本国際音楽コンペティション 審査員

弦楽器部門 Strings



木田雅子 Masako Kida (ヴァイオリン)

大阪音楽大学大学院修了。第29回全日本学生音楽コンクール高校の部全国第1位。多くのオーケストラと共演。TV、FMなど放送の分野でも多くの番組に出演、国内外で精力的な活動を続けている。阪神淡路大震災後チャリティ演奏活動をライフワークとして取り組んでおり、2015年にCDアルバム「朝の歌」を発表、その収益を震災復興支援として毎日新聞大阪社会事業団に全額寄付。2020年1月に「25年目の春へ」と題す公演を行い、収益を日本赤十字社を通じて寄付、金色有効賞受賞。日本学生音楽コンクールの審査員を長年務め、その他多くのコンクールの審査員を務める。現在、大阪音楽大学特任教授、兵庫県立西宮高校非常勤講師、日本弦楽指導者協会理事。



JAPAN INTERNATIONAL
MUSIC COMPETITION

日本国際音楽コンペティション 審査員

打楽器部門 Percussion



塚越慎子 Noriko Tsukagoshi (マリンバ)

パリ国際マリンバコンクール第1位はじめ、ベルギー国際マリンバコンクール、世界マリンバコンクール等、国内外のコンクールにて受賞多数。皇居内桃華楽堂にて御前演奏、世界最大の打楽器フェスティバルPASICにてソリストとして出演他、アメリカ、ヨーロッパ、南米より招待を受け国際的に活動中。ソロ活動の他、読売日本交響楽団、東京フィルハーモニー交響楽団、広島交響楽団、群馬交響楽団、東京シティ・フィルハーモニック管弦楽団ほかと共演し、高い評価を得ている。CDはこれまでに3枚リリース、デビューアルバムはレコード芸術誌にて特選盤に選出。国立音楽大学、洗足学園音楽大学非常勤講師。第22回出光音楽賞受賞。長い伝統と権威ある同賞において、初の打楽器奏者の受賞となる。



高田 亮 Ryo Takata (マリンバ)

神奈川県出身のマリンバスト。日本管打楽器コンクール高校生の部金賞、全日本演奏家協会主催ソリスト・コンクール第3位。1992年洗足学園大学を首席で卒業、1993年同大学音楽専攻科修了。デビュー・リサイタル開催以来全国ソロ・コンサート・ツアーを展開する。毎回凝った衣装で楽しめるステージを見せ、ビジュアル系マリンバリストとして活躍。3枚のソロアルバムリリース。ソロ活動の他、ディズニーツアーや吹奏楽団の指揮、音楽監督としても活動。現在ブラスエクシードトウキョウティンパニ奏者。洗足学園音楽大学、県立弥栄高校打楽器科講師の他、吹奏楽やソロコンクールの指揮者を歴任。

実行委員会 委員長

間瀬尚美 Naomi Mase (マリンバ)

同志社女子大学学芸学部音楽学科打楽器専攻卒業。同大学《頌啓会》特別専修課程修了。兵庫県立芸術文化センター大ホールにて「間瀬尚美ワンコインコンサート」等多数のコンサートに出演のほか、2015年には東京藝術劇場にて川瀬賢太郎指揮、日本フィルハーモニー交響楽団とマリンバ協奏曲をソリストとして共演。またアメリカカロサンゼルスにて「2008Zeltsman Marimba Festival」参加し、ファイナルコンサート出演。2019年メキシコにて「チャパス国際マリンバフェスティバル2019」に日本代表で招聘され、マスタークラスやコンサート等を行う。神戸新聞松方ホール音楽賞選考委員奨励賞、神戸新人音楽賞コンクール優秀賞、ひょうごアーティストサロン賞、平成24年度兵庫県坂井時忠音楽賞、平成26年度神戸市文化奨励賞、平成28年度兵庫県芸術奨励賞各受賞。現在、大阪音楽大学、神戸女学院大学音楽学部、県立西宮高等学校音楽科各講師。





JAPAN INTERNATIONAL
MUSIC COMPETITION

日本国際音楽コンペティション 審査員

打楽器部門 Percussion



安永 友昭 Tomoaki Yasunaga (打楽器)

幼少の頃から武蔵野音楽大学附属音楽教室にてピアノ、ソルフェージュを学ぶ。

17歳より打楽器を始め、武蔵野音楽大学音楽学部打楽器専攻入学。卒業と同時に大阪センチュリー交響楽団にティンパニストとして入団。オーケストラを中心に活動する他、吹奏楽では「なにわオーケストラルウィンズ」に参加。また、吹奏楽コンクールの審査員も務める。現在、日本センチュリー交響楽団首席ティンパニ奏者。

「アニマルコンチェルト」、「だがつきスイッチ」各メンバー。神戸女学院大学非常勤講師。関西打楽器協会理事。



西岡 まり子 Mariko Nishioka (マリンバ)

同志社女子大学、フライブルク音楽大学、バーゼル音楽大学院卒業。平成18年度文化庁新進芸術家海外留学制度研修員。第56回ミュンヘンARD国際音楽コンクール打楽器部門ファイナリスト及び特別賞。第44回ダルムシュタット国際現代音楽祭。日本ジュニア管打楽器コンクール第1位、第25回日本管打楽器コンクール等入賞。平成21年度平和堂財団芸術奨励賞。ソロ・室内楽・オーケストラ・オペラ・収録等に参加。近年では小曾根真・児玉桃・大場章裕 各氏とのバルトークツアー、サントリーサマーフェスティバルに於いて読売日本交響楽団とマリンバ協奏曲を新作初演し好評を博した。2021年よりサクソフォン・打楽器によるDuo Märzを結成。委嘱新作や日本初演作品演奏、動画配信など意欲的な活動を行なっている。関西打楽器協会理事。



JAPAN INTERNATIONAL
MUSIC COMPETITION

日本国際音楽コンペティション 審査員

声楽部門 Vocal Music



下原 千恵子 Shimohara Chieko (ソプラノ)

国立音楽大学首席卒業。同大学院首席修了。イタリア（ミラノ）に7年間在住。国内外の国際コンクールにおいて多数優勝。国内外のオペラ、コンサートに多数出演（アイダ、マクベス、ナブッコ、トスカ、蝶々夫人、トゥーランドット、トロバトーレ、仮面舞踏会、ガバエリリアルスティカーナ等）。近年ではオペラ、コンサート公演の企画プロデュースも手掛けている。
現在、国立音楽大学教授、Musica Atami音楽院代表。



福原 寿美枝 Sumie Fukuhara (メッツォ・ソプラノ)

京都市立芸術大学卒業、同大学院修了。音楽学部賞受賞。《カルメン》《アイダ》《ドン・カルロ》《ナクソス島のアリアドネ》をはじめイタリアピサ歌劇場にて《聖スザンナ》《修道女アンジェリカ》等、国内外のオペラに出演。また、NHK交響楽団とモーツァルト「レクイエム」、大阪交響楽団とヴェルディ「レクイエム」、大阪フィルハーモニー交響楽団とバッハ「ヨハネ受難曲」「マタイ受難曲」、九州交響楽団とマーラー「交響曲第2番(復活)」、名古屋フィルハーモニー交響楽団とマーラー「交響曲第2番(復活)」「第3番」「第8番(千人の交響曲)」、プロコフィエフ「アレクサンドル・ネフスキー」、神奈川フィルハーモニー管弦楽団とバーンスタイン「交響曲第1番『エレミア』」等、数多く演奏活動を行っている。神戸市文化奨励賞、音楽クリティック・クラブ賞受賞。関西二期会会員。武庫川女子大学音楽学部教授、京都市立芸術大学非常勤講師。



老田 裕子 Yuko Oita (ソプラノ)

大阪音楽大学大学院修了。ドイツへ1年間留学。透明感のあるあたたかい声でオペラの主要な役を演唱、宗教曲のソリストとしても活躍している。日本音楽コンクール歌曲部門入選、飯塚新人音楽コンクール第1位、松方ホール音楽賞大賞、兵庫県芸術文化奨励賞受賞。マーラー作曲「子供の不思議な角笛」全曲演奏に対し文化庁芸術祭音楽部門新人賞を受賞。大阪国際フェスティバルのゼツダ指揮「ランスへの旅」コリンナ役は美声と自由な技巧を評価された。2021年東京文化会館舞台芸術創造事業「歌劇:ヴォルフ・イタリア歌曲集」では歌曲とオペラの融合という新たな形を演唱した。関西二期会会員。同志社女子大学、武庫川女子大学、大阪音楽大学各非常勤講師。



JAPAN INTERNATIONAL
MUSIC COMPETITION

日本国際音楽コンペティション 審査員

声楽部門 Vocal Music



斉藤言子 Kotoko Saito (ソプラノ)

神戸女学院音楽学部卒・研究生修了。ミラノヴェルディ音楽院、南カリフォルニア大学（客員研究員）で学ぶ。国内外の声楽コンクールで受賞多数。日、伊、米にて数々のオペラ主演、リサイタル、宗教曲ソリスト、放送などで活躍。声、演技共磨きぬかれたテクニックと表現力、格調高いステージとの好評を得ながら幅広い演奏活動を展開している。指導者としても国内外で活躍する声楽家、コンクール入賞者を多数輩出している。各種声楽コンクール審査員。大阪国際音楽コンクール最優秀指導者賞、兵庫県学術教育功労賞、和歌

山市文化賞、和歌山県文化功労賞受賞。イタリアペルージャ音楽祭特別招聘教授。現在神戸女学院大学名誉教授・学長(2015~2020)、関西二期会副理事長。



荒田祐子 Yuko Arata (メッツォ・ソプラノ)

神戸女学院大学音楽学部卒業。卒業と同時に関西歌劇団公演、朝比奈隆指揮「アイダ」のアムネリス役でデビュー。その後「カルメン」「仮面舞踏会」等数多くのオペラを好演。文化庁芸術家在外派遣研修員として渡伊、シミオナート氏に師事。ノヴァーラ及びカリアリ国際声楽コンクール第1位。ワルシャワ国立大歌劇場で「蝶々夫人」のスズキ役をはじめヨーロッパ各地で演奏会に出演。大阪文化祭奨励賞、なにわ芸術祭新人賞、音楽クリティッククラブ新人賞、神戸灘ライオンズクラブ音楽賞、兵庫県芸術奨励賞、神戸市文化奨励賞、ザ・カレッジオペラハウス館長としてプロデュースした「ねじの回転」が文化庁芸術祭大賞、「ピーターグライムズ」が三菱UFJ信託音楽賞受賞。大阪音楽大学教授、関西歌劇団常務理事。



晴 雅彦 Masahiko Hare (バリトン)

大阪音楽大学卒業。文化庁派遣芸術家在外研修員として独ベルリンに留学。独ケムニッツ市立劇場「魔笛」パパゲーノで欧州デビュー後、独ザクセン州立劇場、独ラインスベルク音楽祭、瑞ヴァドステーナ音楽祭、新国立劇場で活躍。チョン・ミョンフン、ペーター・シュナイダー、ダン・エッティンガー、ウルフ・シルマー等著名な指揮者や露レニングラード国立歌劇場管弦楽団と共演。「プレミアム・シアター」「名曲リサイタル」「題名のない音楽会」に出演。大阪府芸術劇場奨励新人、咲くやこの花賞、大阪文化祭奨励賞、兵庫県芸術奨励賞を受賞。富田林市文化振興事業団すばるホール・アドバイザー。ふるさと富田林応援団アンバサダー。大阪音楽大学教授。



ピアノ部門 Piano



久元 祐子 Yuko Hisamoto (ピアノ)

東京藝術大学を経て同大学院修了。ウィーン放送響、ラトビア国立響、読響、新日本フィル、ベルリン・カルテットなど内外のオーケストラや合奏団と多数共演。2011年ウィーンでのリサイタルが高い評価を受け、ベーゼンドルファー・アーティストの称号を授与される。プレイエル、エラール、ブロードウッドなど19世紀のオリジナル楽器を所蔵。それら歴史的ピアノを用いての演奏会や録音にも数多く取り組む。イタリア国際モーツァルト音楽祭に度々招かれリサイタルを開催。「優雅なるモーツァルト」(毎日新聞 CD 特薦盤、レコード芸術特選盤)などCD16作をリリース。園田高弘賞、毎日21世紀賞などを受賞。著書に「モーツァルトのピアノ音楽研究」(音楽之友社)など。<http://www.yuko-hisamoto.jp/>
国立音楽大学・大学院教授、ベーゼンドルファー・アーティスト。



青井 彰 Akira Aoi (ピアノ)

東京藝術大学附属高校を経て、東京藝術大学ピアノ科卒業。ウィーンに留学。田村宏、松浦豊明、プルーノ・サイドルホファー、ヨゼフ・ディヒラー、ハンス・カン、レオニード・プルンベルグ、オレグ・マイセンペルク、ミエチスラフ・ホルシヨフスキーの各師に師事。ミラノ、ウィーン、東京、横浜、大阪、神戸他国内各地でソロ、室内楽等の演奏会を行う。現在、兵庫県立西宮高校音楽科の非常勤講師。



伊藤 順一 Junichi Ito (ピアノ)

東京藝術大学附属高校を経て同大学在学中に渡仏し、パリ・エコールノルマル音楽院をピアノ、室内楽共に首席で修了。その後パリ国立音楽院やリヨン国立音楽院で研鑽を積み、イタリア、クロアチアなどヨーロッパ各地のコンクールに入賞し、各オーケストラと共演。第4回日本ショパンコンクール第1位。第47回日本ショパン協会賞受賞。2021年第18回ショパン国際コンクール本大会出場。同年12月、デビューアルバム「プロフォンド」をリリースし、レコード芸術誌特選盤に選出。現在、神戸女学院大学講師を務める傍ら、毎月東京や神戸を中心に演奏会を開催している。一財)カンセイ・ド・アシヤ文化財団 第1期オフィシャルサポートアーティスト。



JAPAN INTERNATIONAL
MUSIC COMPETITION

日本国際音楽コンペティション 審査員

ピアノ部門 Piano



岡田将 Masaru Okada (ピアノ)

桐朋女子高等学校音楽科在学中に日本音楽コンクール優勝。モーツァルテウム音楽院、ベルリン国立芸術大学に留学。99年オランダのリスト国際ピアノコンクールに日本人として初めて優勝。国内外のオーケストラと共演。また、オール・リスト・シリーズ、バッハ：パルティータ全6曲コンサート、ベートーヴェン：ピアノソナタ全曲シリーズ、2018年にはリスト：超絶技巧練習曲全曲コンサートを開催し話題となる。また、同年12月にはスペインの巨匠チェリスト ルイス・クラレットとの共演でCD『ベートーヴェン：チェロ・ソナタ全集』（オクタヴィア／レコード芸術準特選盤）をリリース。高い評価を得ている。神戸女学院大学准教授。



石井 なをみ Naomi Ishii (ピアノ)

神戸女学院大学音楽学部卒業。同研究生修了。国際ロータリー財団奨学生としてザルツブルグ・モーツァルテウム音楽大学大学院演奏家コースに留学。各種コンクール審査員。ショパン国際コンクール・イン・ハートフォード「優秀指導者賞」、パデレフスキー国際コンクール「優秀指導者賞」を受賞。ロザリオ・マルチーノ国際コンクール審査員。アメリカ・ハートフォード・ショパン国際コンクール審査員。ポーランド・ブスコフズィドロイにてクリスティアン・トカチェフスキー国際コンクール審査員。パデレフスキー国際コンクール審査員。一般社団法人全日本ピアノ指導者協会評議員。日本バッハコンクール実行委員長。ピティナ指導者育成委員、大阪音楽大学特任教授、神戸女学院大学・大学院、昭和音楽大学・大学院、兵庫県立西宮高等学校音楽科、各非常勤講師。



ミュージカル部門 Musical



楠木 稔 Minoru Kusunoki (バリトン)

ミュージカル俳優として、劇団四季の『ノートルダムの鐘』の他、『アニーよ銃をとれ』ポウニー・ビル役、『ズボン船長』ソックラテス役等、全国各地の公演に出演。ミュージカル3部作『サクラ・サク』では、一人芝居ミュージカル『夜明け』・二人芝居ミュージカル『10カウント』・三人芝居ミュージカル『サクラ・サク』の3作に主演で出演。その他、テレビ・ラジオ・インターネット等のCMソングを数多く歌う。ボイストレーナーとしても活動し、武庫之荘クスノキ音楽教室の主宰として後進の育成に努める。大阪音楽大学専攻科声楽専攻修了。所属事務所：KとS株式会社所属。



風間 友香子 Yukako Kazama (ソプラノ)

大阪音楽大学声楽専攻卒業。ウイーンマイスターコース修了、ディプロマを取得、修了演奏会に出演。第3回リトルカメリアコンクール入選。ソロリサイタル2回開催。数々のオーケストラと共演。オペラ、オペレッタは「こうもり」アデーレ、「カルメン」ミカエラ、「メリー・ウィドウ」バランシェンヌ、「ジプシー男爵」アルゼナ、「コジファントウツテ」デスピーナ、「源氏物語」葵の上、「赤い陣羽織」おかか役他、多数出演。コンサートも多数出演。宝塚音楽学校、百合学院中、高等学校声楽講師。関西歌劇団所属。川西音楽家協会役員。



中尾 理恵 Rie Nakao (ソプラノ)

大阪音楽大学声楽学科、声楽専攻科卒業。アメリカ ペンシルヴァニア州テンプル大学院Voice Performance 研究室卒業Master of Musicの称号をテンプル大学より得る。

劇団四季 関西歌劇団Boyer College of Music and Dance等の公演に多数出演。現在、テアトルアカデミー大阪校、アクトレスK等の講師。